

官庁営繕事業

令和5年度		新規事業採択時評価			
事業名(箇所名)	札幌第4地方合同庁舎(Ⅱ期)	担当課	官庁営繕部計画課		事業主体 国土交通省 北海道開発局
		担当課長名	佐藤 由美		
実施箇所	北海道札幌市中央区北2条西19丁目				
事業諸元	・敷地: 12,913 m <sup>2</sup> ・構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上9階 ・規模: 約19,100 m <sup>2</sup>				
事業期間	事業採択	令和 6 年度	完了	令和 13 年度	
総事業費(億円)	125				
計画概要	<解決すべき課題・背景> 札幌開発建設部は、築後58年が経過し、老朽による不具合が生じていることに加え、河川氾濫による浸水が想定され災害応急対策活動に支障をきたすおそれがある。また、札幌管区気象台は、築後58年が経過し、老朽化による不具合や狭あいが著しいことに加え、河川氾濫による浸水が想定され災害応急対策活動に支障をきたすおそれがある。 このため、これらの防災官署である2施設を集約し、札幌第4合同庁舎(Ⅰ期)と隣接して整備することにより、防災拠点としての更なる機能強化と国民の安全・安心の確保を図る。				
事業計画の必要性	評点		必要性の主な根拠		
	115点		老朽、狭あい、地域連携、施設の不備、防災機能に係る施設の不備		
事業計画の合理性	評点		合理性の主な根拠		
	100点		同等の性能を確保できる他の案との経済比較を行った際に、事業案の方が経済的であると評価される。		
	代替案との経済比較				
	C' - C	27.0	基準年度:		
		C' : 代替案の総費用(LCC)(億円)	186.6		
		C : 事業案の総費用(LCC)(億円)	159.6		
事業計画の効果	評点		効果の主な根拠		
	121点		業務を行うための基本性能(B1)に関し、 ・国として用地を保有 ・施設へのアクセスは良好		
	施策に基づく付加機能(B2)の発揮見込み				
	評価項目	主な計画内容及び期待できる効果			
	社会性(地域性)	地域に配慮した計画であり、地域性の効果が期待できる。 ・地域の防災機能向上に貢献するため、災害時の一時避難場所としての機能を確保する計画である。 ・地域の利便性向上に貢献するため、オープンスペースなど、地域と一体となって利用が可能な空間の整備を行う計画である。			
	環境安全性(環境安全性)	環境負荷の低減等に配慮した計画であり、環境安全性の効果が期待できる。 ・BEE値 ≥ 1.5、BEI ≤ 0.6			
	環境安全性(木材利用促進)	木材利用に配慮した計画であり、木材利用促進の効果が期待できる。 ・国民の目に触れる機会が多いと考えられる部分の内装等の木質化を図る計画である。			
機能性(ユニバーサルデザイン)	施設の円滑な利用に配慮した計画であり、ユニバーサルデザインの効果が期待できる。 ・建築物移動等円滑化誘導基準に適合する計画である。				
安全性(防災性)	地震等に対する安全性に配慮した計画であり、防災性の効果が期待できる。 ・構造体の耐震安全性の目標をⅠ類(地震力に対する各階の必要保有水平耐力を1.5倍相当)とする計画である。 ・大地震動後のライフライン途絶時における業務継続のための特別な対策を行う計画である。				
その他					

施設名： 札幌第4地方合同庁舎(Ⅱ期)

事業場所： 北海道札幌市中央区北2条西19丁目

概要図  
(位置図)

